

## 楽しみながら図書館活用術が身につく

### ー「ライブラリ サーティフィケート」の試みー

甲南大学図書館では今年から「ライブラリ サーティフィケート」という認証制度を始めました。

図書館の企画ですから読書は基本です。認証を受けるには読破冊数を、20、50、100冊と継続的に増やしてゆかねばなりません。読書は学習はもとより生きてゆくためのあらゆる知的活動の基盤となるものです。



しかし図書館は本を借りるだけの場所ではありません。現代では視聴覚資料やデジタル情報など情報の形態はさまざまです。図書館はこうした多様な情報の集積場であり、それらにアクセスするための窓口です。

自ら記録をつけることで能動的な読書習慣を養うとともに、図書・資料の情報検索法を習得すること、さらに図書館のイベント等に参加したりそれらを企画することを通して、総合的な図書館活用術を身につける。「ライブラリ サーティフィケート」とは、こうした能力を身につけたと認められる学生を、基礎の3級から、2級、1級へと段階的に表彰しようというものです。

そのために図書館では次のようなさまざまな企画で学生を応援しています。

- (1) 読書記録のための特製ノートの特製ノートの提供や本との出会いに誘う  
話題本コーナーの設置

- (2) 学生による店頭選書(写真右)や図書館案内ガイド(同上)などのボランティア活動

- (3) 洋書の多読チャレンジ達成者の表彰

- (4) 読みたい本をさがすための図書検索法から専門的なデータベースの使用法を学ぶ各種ガイダンス

- (5) ビブリオバトル(写真下)や製本教室などの実施

- (6) 学生や教職員による書評の投稿や書籍カバーのデザインコンテスト

- (7) エントランスホールでの展示や視聴覚ホールでのイベント

などなど(詳しくは本学図書館ホームページで紹介しています)。→[ホームページへ](#)



図書館利用術は社会に出てからも活用できる汎用性のある技法です。静かに読書するもよし、仲間とイベントで盛り上がるもよし、楽しみながら図書館活用力が身につけられる、「ライブラリ サーティフィケート」はそんな仕掛けです。

早くも1級の取得をめざしてがんばっている人が出てきました。一人でも多くの認定獲得者が生まれることを期待しています。

(文責：図書館長 稲田清一)

\*KONAN サーティファイケイトについては、[こちら](#)を参照して下さい。